

眼科菁華錄

上海千頃堂書局
印行

浙江餘姚康維恂編

眼科菁華錄

上海千頃堂書局印



中華民國二十四年十月初版

此書有著作權
不准翻印

眼科菁華錄

(全二冊)

(定價大洋八角)

著作者

餘姚康維恂

校訂者

餘姚康燮忱

印刷者

千頃堂書局印刷所

發行人

謝祖芳

總發行所

上海三馬路
二九六號

千頃堂書局

上海三馬路二九六號

千頃堂書局商標



眼科菁華錄序

范文正公曰。不為良相。當為良醫。蓋以醫之濟人利物。其功足侔良相。雖然。余嘗以是說為疑。因醫洵小道也。果操十全之術。日不過診治百十人。矧學術精湛。經驗宏富。百無一失者。如鳳毛麟角。豈能與良相並論乎。余故主張醫病。不如醫醫。凡醫者。研究有得。廣行刊佈。俾讀其書者。都得著手成春。如斯庶可媲功良相於萬一。康君息塵為吾浙眼科聖手。經驗學術固屬十全。惟偏居姚江。而大江南北。浙水東西。望

其救治者。輒梗道阻。顧康君雖具有濟世之忱。要亦無分身之術。即使東奔西馳。仍屬顧此失彼。乃以生平心得。暨選古今先哲之病理方論彙而成書。名曰眼科菁華。錄行將付諸剞劂。俾世之治眼科者。多一指南。患眼病者。多一寶筏。其濟人利物之功。豈亞於良相。而余謂康君亦知醫病之道。小醫醫之。惠大余亦於是信。范文正公之言有徵也。爰為之序。

中華民國二十四年孟春裘吉生撰於杭州湖濱三

陸序

康子息塵昔年曾以所著色門棒喝刊行於世。今復以所編眼科菁華錄將付剞劂。徵序於余。余觀其彙集諸家之長。旨深而明。言簡而賅。使讀者不厭煩。臨症有所準。即非業斯者。亦得人手一編。平時而為之。防遇急而為之。應其濟世苦心。衡諸色門棒喝一書。豈有二致哉。余於息塵屢相過從。齒則較長。而隨以毀行嬉。以荒業。年踰不惑。一無所成。以視息塵之好學不倦。屢刊壽世宏篇。其愧慙為何如也。息塵今歲

將重至海上。南中名公多與往還。一時作者為其夙
好學貴切磋。易尚自強。吾預知其益。加奮勉。登峯造
極。前乎此者。既有色門棒喝。以開其端。後乎此者。必
更有高且深者。以殿其末。區區此書。恐未足盡其才
也。

中華民國二十四年春初。陸賜醒塵甫序於意境廬。

自序

眼科載籍夥矣。欲求簡切明瞭。通古適今者。殊不多覩。不佞從事斯道。歷有年。所粵諸古今眼科各書。非卷帙浩繁。即約畧不詳。如目經大成。銀海指南。銀海精微。龍木論。一草亭等書類。皆不易參閱。不便記誦。業斯道者。每以眼科一學。無簡明讀本。深以為憾。不佞就傳時。亦覺此為大缺點。蓋博而不約。頗費學者腦力。畧而不詳。徒亂人之心目。於是孜孜焉。矻矻焉。惟眼學讀本是務。寒暑幾更。編輯方竣。敢付手民。求政方家。然斯書內容。原非臆說。頗多各書奧旨。故定名曰眼科菁華錄。侈談乎炫世乎。人手一編。當可實驗。

中華民國二十四年孟春浙江餘姚甌忱康維恂謹述

眼科菁華錄目次

▲卷首

(一) 陰陽彙要	一
(二) 陰陽圖	一
(三) 臟腑表裏三陰三陽輪廓貫通	二
(四) 五臟表裏	二
(五) 表裏解	二
(六) 五運表	二
(七) 六氣表	二
(八) 五行一統選要	三
(九) 五輪所屬解	四
(十) 五輪詩	四
(十一) 五輪定位圖	五

(十二) 五輪主屬圖	五
(十三) 五臟所現五輪病	五
(十四) 五臟主病歌	五
(十五) 五輪病因	五
(十六) 診斷目病捷法	六
(十七) 診斷目病辨經訣	六
(十八) 診斷目病切脈訣	六
(十九) 治療應用器具圖	六
(二十) 器具圖解	七
(二十一) 目病開導針穴圖	七
(二十二) 針穴所屬經絡及主治目病	八
(二十三) 目為人身至寶論	十

▲卷上

(五) 五輪不可忽論	五
(五) 守正闢邪論	五
(五) 六氣總論	五
(五) 七情總論	五
(五) 論火	五
(五) 論血病	五
(五) 氣病論	五
● 外症門	
外症緒言	一
目痛說原	一
寒熱畧說	一
(一) 淫熱反尅	二
(二) 風熱不制	二

(三) 飢飽勞役	二
(四) 血為邪勝	三
(五) 水衰反制	三
(六) 傷寒愈後	三
(七) 亡血過多	四
(八) 天行赤熱	四
(九) 暴風客熱	五
(十) 赤痛如邪	五
(十一) 痛如針刺	五
(十二) 怕日羞明	五
(十三) 火脹大頭	六
(十四) 赤絲虬脈	六
(十五) 時復之病	六
● 外障門	

外障緒言

(一)黃液上衝

七

(二)赤脈下垂

八

(三)凝脂翳變

八

(四)花翳白陷

八

(五)蠅睛橫出

九

(六)冰瑕翳症

九

(七)陰陽翳症

九

(八)瑯瑤內傷

九

(九)聚星瘡症

十

(十)垂簾障症

十

(十一)逆順障症

十

(十二)混睛障症

十

(十三)玉翳浮睛

十二

(十四)血翳包睛

十一

(十五)黑翳如珠

十一

(十六)胬肉攀睛

十二

(十七)膜入水輪

十二

(十八)木瘍

十二

(十九)火瘍

十二

(二十)水瘍

十三

●氣輪門

說氣輪症

十三

(一)金瘍之症

十三

(二)白澁痛

十三

(三)白珠俱青

十四

●目赤門

說目赤症

十四

(一) 瘀血灌睛

十四

(二) 血灌瞳神

十四

(三) 色似臙脂

十五

● 胞瞼門

胞瞼症說

十五

(一) 雞冠蜆肉

十五

(二) 魚子石榴

十五

(三) 椒瘡

十六

(四) 粟瘡

十六

(五) 疾核之症

十六

(六) 氣血混結

十六

(七) 瞼硬睛疼

十六

(八) 內急外弛

十七

(九) 皮急緊小

十七

(十) 倒睫拳毛

十七

(十一) 地傾

十六

(十二) 胞虛如毳

十六

(十三) 胞輪振跳

十六

(十四) 皮翻粘瞼

十六

● 目瘍門

目瘍緒論

十九

(一) 實熱生瘡

十九

(二) 熱積必潰

十九

(三) 大眚眼漏

二十

(四) 小眚眼漏

二十

(五) 土瘍之症

二十

● 目癢腫脹門

目癢腫脹合說

二十一

(一) 瘡如蟲行

主

(二) 腫脹如杯

主

(三) 鵲眼凝睛

主

(四) 旋臚突起

主

(五) 珠突出眶

主

● 流淚門

流淚緒言

主

(一) 迎風冷淚

主

(二) 迎風熱淚

主

(三) 無時冷淚

主

(四) 無時熱淚

主

● 沿爛門

風沿爛論

主

(一) 背悼赤爛

主

(二) 迎風赤爛

主

● 補錄方

(一) 嚙鼻散

主

(二) 開明丸

主

(三) 脇腫膏

主

(四) 補漏生肌散

主

(五) 鐵箍散

主

▲ 卷下

● 頭風門

頭風目病緒論

(一) 左右偏頭風症

一

(二) 雷頭風症

二

(三) 陰邪風症

二

(四) 陽邪風症

二

● 昏花門

昏花緒論

(一) 瞻視昏渺

(二) 睛黃視渺

(三) 乾澀昏花

(四) 坐起生花

(五) 雲霧移睛

(六) 螢星滿目

(七) 神水將枯

● 妄見門

妄見緒論

(一) 神光自現

(二) 黑夜睛明

(三) 視正反斜

三

四

四

四

五

五

五

六

六

六

六

七

(四) 視定反動

(五) 視物顛倒

(六) 視一為二

(七) 視赤如白

(八) 能遠怯近

(九) 能近怯遠

(十) 陰弱不能配陽症

● 內障門

內障根源緒論

(一) 瞳神散大

(二) 瞳神細小

(三) 瞳神散側

(四) 高風障症

(五) 暴盲之症

七

七

七

八

八

八

八

九

九

十

十

十二

十二

(六) 青風內障

十二

(七) 綠風內障

十二

(八) 烏風內障

十二

(九) 偃月內障

十二

(十) 如銀內障

十二

(十一) 圓翳內障

十二

(十二) 劍脊翳障

十二

(十三) 魚鱗障症

十二

(十四) 棗花障症

十二

(十五) 聚開障症

十二

● 妊娠門

因妊娠緒論

十四

(一) 兼胎症

十四

(二) 產後症

十五

● 痘疹門

因痘疹緒論

十五

(一) 濁害清和

十五

● 疔傷門

因疔傷說

十六

(一) 疔眼傷脾

十六

(二) 深疔害眼

十六

(三) 轆轤轉關

十六

(四) 雙目睛通

十六

(五) 目睛仰視

十六

(六) 睛目直視

十六

(七) 小兒劄目

十六

(八) 胎風赤爛

十六

(九) 目閉不開

十六

●諸因門

說諸因

平

(一)因風之症

平

(二)因毒之症

平

(三)因損傷症

平

(四)因他之症

平

暴病六則

平

●補錄方

(一)薤仁丸

平

(二)決明夜靈散

平

(三)蕪荑丸

平

(四)肥皂丸

平

(五)牛黃丸

平

(六)控涎散

平

(七)碧霞丹

平

(八)三黃丸

平